

# バリアフリー特定事業計画の事後評価について

特定事業進捗管理シート (平成26年度)

担当部署 京成電鉄株式会社 部 課

取組方針 (目的) 例) 駅利用の安全性及び移動性の向上を推進する

担当者名 評価値 凡例  
A: 100% (実績進捗率) C: 50~70%  
B: 70~90% D: 50%以下

右記の凡例をご覧ください、実績(進捗率)をA~Dでご記入ください。

取組内容(基本構想)		取組の評価			実施状況		取組の効果	
取組	概要	短期	中期	長期	目標年次	実績(進捗率)	取組状況	評価値
例) 駅(線)入口	線 駅 口の階段を改修し、スロープを併設する。				平成27年度完了	80%程度	基本設計、実施設計完了、既存階段撤去中	B
商店エレベーター	店舗の改装工事をするときに、エレベーターの設置を検討します。				平成34年度完了	10%程度	店舗改装の時期及び新規店内レイアウト検討を開始した。	D

左記の事業完了目標年度、現在の取組状況から概ねの実績(進捗率)をご記入ください。

この欄には今年度、特定事業に取り組んでいただいた経験をとおり、来年度以降の方針をご記入ください。

今後の取組方針  
例) 取組の効果が着実に現れていることから、次年度以降も継続した取組を実施する。  
予算の削減等により の継続が困難なことから、取組方針を踏まえ、次年度以降は に変えて、低コストで実施可能な を実施する。  
取組方針を踏まえ、次年度以降、 との相乗効果が期待できる を新たに実施する。

事業実施箇所が分かる図面を添付してください。 ex) 平面図、詳細図等。無い場合は別途ヒアリングさせていただきます。

- ### 【特定事業計画・事業者による自己評価を踏まえた今後の課題等】
- ・鉄道：構造的な問題により対応が困難な場合は、人的支援によりしっかりとサポートする体制を整え、情報を発信することで代替することも必要。整備を推進しようとする姿勢は住民検討委員会からも高く評価されている。
  - ・バス：車両についてはノンステップ型になっているが、停留所や車内アナウンスなどではまだまだ課題が指摘されている。乗務員によるサービスにおいては概ね高い満足度が得られている。
  - ・道路：出来る箇所から随時対応をしているが、ガイドラインに合致しない箇所が散見されるため、整備の際にはガイドラインの水準をベースに検討が必要。特定事業の変更が必要になる場合は随時相談の上、柔軟に対応したい。
  - ・公園：予算規模が少ないながら順次整備を行なっている点は十分評価できる
  - ・建物：民間の努力は評価できるが、公共については理解がまだ不十分である
  - ・警察：安全の最優先という視点からの取組みにおいて、視覚障害者対応では困難な箇所が見られるが、積極的に住民意見を取り次ぎ、共に考えていきたい。

## 日暮里・舎人ライナー

特定事業進捗管理シート (平成26年度) 熊野前駅周辺地区

担当部署 東京都交通局建設工務部計画改良課(関連部署:建設工務部建築課、電車部営業課)

取組方針 (目的) ・交通局は、まえて、バ  
(1)全駅は  
(2)全駅は  
スペース  
(3)お客様  
(4)目の不  
(5)高齢者、障がい者等への適切な対応について、研修などを通じて駅係員 向上に努めています。  
(6)昨年度7月より、日暮里駅、西日暮里駅において、「ヘルプマーク」の 開始すると共に、駅構内や車内等にポスター及びステッカーを掲示し、普及啓発を実施しています。

実績(進捗率)に基づく評価。  
住民検討委員会により進行管理チェックを行ないます。

評価値 凡例  
A: 100% (実績進捗率)  
B: 70~90%  
C: 50~70%  
D: 50%以下

取組内容(基本構想)		取組の評価			実施状況		取組の効果	
取組	概要	短期	中期	長期	目標年次	実績(進捗率)	取組状況	評価値
熊野前駅(日暮里・舎人ライナー)通路	1 - 分岐点において手すりに点字を貼り付け行き先を提示します。				平成26年度完了	100%	改札、南口出口、尾久小口出口を案内する点字サインを分岐点の手すりに設置	A
熊野前駅(日暮里・舎人ライナー)階段	2 - 階段の段鼻に明度差つけ、視認性の向上を図ります。				平成28年度完了	0%	視認性の向上方法を検討中	D

今後の取組方針  
上記の内容について、階段の視認性向上等に向け、次年度以降も継続的に取り組んでいきます。都営交通におけるさらなるバリアフリー化を進め、お客様により良いサービスを提供することを目指してまいります。

### 今後に向けてのポイント

障害者差別解消法により、整備義務・努力義務ともに発生するため、もう一度状況を整理しつつ、課題点を発見しておくことが急務と言える。

